

令和7年度 奨学後援会総会資料

学校の概況

令和7年6月22日

広島商船高等専門学校

目 次

ご挨拶（校長 逸見 真）	24
学生教育（教務主事 河村 義顕）	25
学生支援（前学生主事 朝倉 和・新学生主事 内山 憲子）	26
学寮生活（前寮務主事 濱田 朋起・新寮務主事 平井 剛和）	28
広報活動（広報主事 大沼 みお）	30
進路指導—商船学科—（就職担当：村岡 秀和、茶園 敏文）	32
進路指導—電子制御工学科—（就職担当：大和田 寛）	33
進路指導—流通情報工学科—（進路指導担当：金子 春生）	34

ご挨拶

校長 逸見 眞

奨学後援会の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また日頃より本校における学生教育及び指導へのご理解とご支援とを賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国はコロナ禍の災厄を乗り越え再生し、社会情勢は時局に照らし様々な局面を呈してはいるものの、全般的に企業のなりわいは担い手、人手不足と活況の内に入り、本校本科、専攻科への求人及び就活は順調に推移しております。

本校を取り巻く環境も昨年度には無事、コロナ以前への回帰を果たし、従来の広島商船の明朗さと活力とを取り戻しております。学校の運営上、必然ともいえる学生のトラブルや事故等と若干の発生を見たとはいえ、幸いにも深刻な事態には至らず、これも奨学後援会によります陰ながらのご支援の賜物と深謝しております。

その一方で、急速に深度化する少子化の影響により、学生の入学定員の維持は年々、困難を極めております。教職員によるこれまで同様の取り組みでは事足りず、皆様方より尚、一層のご指導ご鞭撻を頂戴し、更にはお知り合い、ご近隣の中学生やその保護者へのお声掛け等、頂ければ幸甚に存じます。

また恒例化した国庫からの交付金の減額により学校運営に係る予算は逼迫し、特に部活動費、備品費他、自前の調達を余儀なくされ、一層の節約と新たな財源の確保とが強いられているところです。皆様にはふるさと納税等、是非ご検討のうえ、本校運営費の充実にお力添えを頂きますよう、お願い申し上げます。

さてこの報告書は慣例に従い、昨年度の学生教育、学生支援、学寮生活、広報活動に関するご報告に加えて、各学科の進路指導の実績について記載致しております。内容のご高覧により本校学生が地道に学問の修得及び課外活動に励み、これを支える教職員が真摯に学校運営に取り組む姿をご高覧頂ければ幸いです。記載内容に関するご意見、ご要望等ございましたら忌憚なくお寄せ下さい。今後の取り組みへの糧とさせていただきます。

引き続き本校へのご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

学生教育

教務主事 かわむら 河村 よしあき 義顕

1. 令和6年度の取り組み

(1) 機関別認証評価への対応

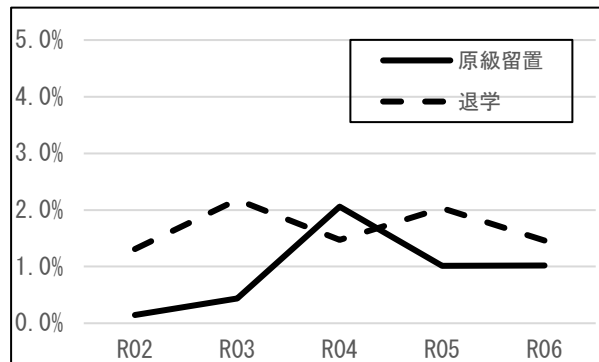
機関別認証評価は7年以内に、教育の内部質保証システムが適切に運用されているか、学生の学校生活や自主的学習の支援体制及び運用状況、財務基盤及び管理運営状況、学科で設定した学習教育目標に対する教育課程の整合性、教育方法及び成績評価の適合性、学生受け入れにかかる方針と実効性等について様々な基準・観点から評価され、継続的な改善を図ることを目的としています。

昨年度の7～8月に書面審査、11月に訪問調査があり、3月に評価結果が確定しました。評価結果としては全ての基準について満たしていると評価を受けましたが、一部の基準については改善事項が示されました。今後も本校の教育研究活動について、組織的な運用の拡充、授業内容及び評価基準の適正化、成績評価の厳格性について見直し、学修者である学生本位の教育に努めてまいります。

(2) 再試験制度による原級留置者減少への取り組み

再試験制度は定期試験で単位が不認定であった科目について、成績確定後（学年末を除く）であっても、学力補充の機会を設け、単位を年度の途中で認定する制度で、前年度より引き続き採用しています。

グラフは学生のお原級留置者と退学者の推移を示しております。原級留置率及び退学率については他高専を比較すると低く、退学者につきましては学力不振による進路変更は10名中1名のみでした。



2. 令和7年度の方針

(1) 大学・高専機能強化支援事業に伴う学科改組

当事業はDX・GX社会において活躍できる情報技術やその応用力を身につけ、電子・電気工学、機械工学あるいは流通・経営分野の専門知識とこれら分野に応用しうる管理工学などの専門的技術を有する技術者を育成することを目的とし、令和7年度入学者より電子制御工学科と流通情報工学科を統合した総合科学科と商船学科に学科改組したカリキュラムがスタートします。

カリキュラムの特色として、全学科に数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎）を導入するとともに、イノベーションスタート、無人航空機、モビリティサイバーセキュリティ、海洋利用運用、半導体デバイス・プロセス技術といった新分野を順次展開するため、これらの授業や実習に対応した設備の拡充を継続的に進めています。

(2) スタディサプリの導入

スタディサプリは、①社会人基礎力の育成②一般教科の学び直し③キャリア教育を目的とした学習支援ツールで、自学自習をサポートする主要科目＋情報科目の講義動画、就職活動支援のための資格検定や小論文対策などの動画コンテンツを利用することができます。特に自分自身の理解が十分でない、あるいはこれから身につけるべき資質が何かといったメタ認知能力を習慣的にする教材としては非常に有効であると考えております。

本年度から導入が始まりましたが、特別活動などを通じて学生と教職員へのガイダンスを行い、学生自身が学びを進める習慣を定着させていきたいと思ひます。

学生支援

前学生主事 朝倉 ひとし
新学生主事 内山 憲子

奨学後援会の皆様におかれましては、日頃から本校の学生生活、課外活動等に対して、多大なるご支援をいただき、大変感謝しております。

1. 就学支援・入学金や授業料の免除、各種奨学金制度について

1年生から3年生までの学生に関しては、就学支援金制度により授業料の支援を行っています。4年生以上の学生には、高等教育の修学支援新制度により、授業料減免に加え奨学金の給付が行われます。令和6年度は、40名の4年生以上の学生が高等教育の修学支援新制度の対象となりました。

その他、入学金や授業料等の免除、各種奨学金の案内や手続き等については、ホームページ及びMicrosoft Teamsで案内しておりますので、申請する場合は、学生係で必要な書類等を受け取り、期限内の提出をお願いいたします(学生課学生係:0846-67-3023)。

2. 新入生オリエンテーション

4月7日(月)～9日(水)に、新入生オリエンテーションを実施しました。7日(月)は、学校と学科のガイダンスを行い、8日(火)～9日(水)は1泊2日で広島市三滝少年自然の家に参りました。当日は、学生会やクラブの主将で構成されるピアサポートリーダーが同行し、工夫したイベントによって1年生を楽しませてくれました。

新入生オリエンテーションを起点としたピアサポート制度とは「1年間を通して、日々の勉強や試験対策、寮生活、クラブ活動等の相談及びサポートをする制度」です。この制度には、リーダー育成の要素も含まれており、1年生と関わりながら成長できる取組みとして評価されています。

3. 高専体育大会

令和6年6月中旬から7月にかけて、中国地区の8高専がそれぞれ各種目の主管をつとめ、中国地区高専大会が開催されました。本大会での結果を残すことを目標に、毎日の厳しい練習を重ねてきたわけですから、最も熱くなる対外試合になります。今回は、陸上部と水泳部の躍進が目立ちました。また、全国高専大会では、卓球競技・女子ダブルスの部で優勝を飾りました。

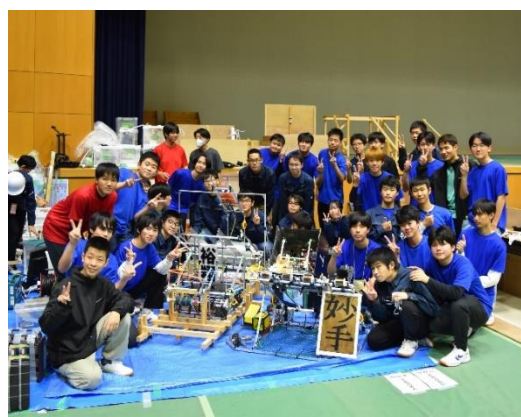
4. 全国商船高専漕艇大会

全国商船高専漕艇大会が令和6年7月15日(月)に富山高等専門学校で開催されました。本校Aチームのタイムは8:47:58、Bチームのタイムは9:17:19でアベック優勝を飾ることができました。また、Bチームは今年で三連覇を果たしており、勢いづいています。

5. 高専ロボコン

高専ロボコン 2024 中国地区大会が9月29日(日)に岡山県津山総合体育館で開催されました。今年の競技テーマは「ロボたちの帰還」であり、主なミッションは「着地」そして「回収と帰還」です。ロボット1がロボット2を飛ばして5m離れた着地スポットに「着地」させると得点となり、さらに着地したロボット2がボールと箱を「回収」して2m離れたロボット1の下へと「帰還」することで得点を獲得できます。

本校Aチーム(チーム名: fly away)は、アイデアや技術に優れたチームに贈られる賞として特別賞(田中貴金属グループ)を受賞し、本校Bチーム(チーム名: 徒手空拳)も、特別賞(株式会社安川電機)に輝くことができました。



6. 令和7年度の方針・取組

今年度も入学式翌日から新入生オリエンテーションが行われ、4月8日(火)～9日(水)は広島市三滝少年自然の家へ参りました。本校のように野外オリエンテーションを実施している高専は少ないのですが、本校はガイダンスの実施で新しい環境に適應できるようになることはもちろん、いち早く仲間との絆を深めるための有効な機会として考えています。また、ピアサポートリーダーがリーダーとして意識をして実践できる場としても、とても良い機会になっています。

4月15日(火)には、新入生を対象に部活紹介が行われました。新入生は、4月の体験期間を経て、各自がそれぞれの部活を選んでいきます。部活動に関しては、7月に中国地区高専大会の開催がありますし、全国高専大会は九州地区が主管になるため、是が非でも全国に進出するぞという強い闘志を燃やしているようです。

基本的には、部活動や商船祭をはじめとしたイベントを通して、学生達に楽しく充実した学校生活を過ごして欲しいと考えています。一昨年前から新しい取組として、①自転車リユース制度、②学生と教職員との懇談会開催を実施しています。

①に関しては、卒業生の不要自転車を学校・学生会が仲介し、必要とする学生へ譲渡する制度です。本校は離島に位置するため、自転車の購入・修理・廃棄に手間がかかり、長年頭を悩ませてきましたが、この問題が解消されつつあることに安堵しているところです。②に関しては、学生会が集約した学生全体の意見に対して、学生と教職員(管理職)が対面して意見交換をします。学校や寮の設備や施設、カリキュラムや授業内容など、必要な支援や望んでいるサービスを学生の声を聞いて再検討することで、学校運営に学生のニーズが反映されていくことを望んでいます。

学寮生活

前寮務主事 はま だ 濱田 ともゆき 朋起
新寮務主事 ひらい 平井 よしかず 剛和

1. 令和6年度の寮生数・再入寮制度について

(1) 寮生数

今年度の若潮寮は、1年生104名（男子81名、女子23名）、留学生2名（男子1名、女子1名）の新入寮生を迎え、総勢431名でスタート致しました。

(2) 再入寮制度

近年、新入寮生は男女合わせて100名を超えています。また、学科改組に伴う定員増により、新入寮生のさらなる増加が予想されます。

学生寮の入寮期限は3年間であり、4年次からは1年間を限度とした再入寮許可制となっています。そのため、4年進級時と5年進級時に再入寮手続きが必要となります。その際、新入生の居室数から判断して総収容人数の超過が予想される時には、生活態度が乱れている場合や公共交通機関を利用した通学が可能な場合等に再入寮を許可しないことがありますので、ご承知おきください。

寮生数（令和6年度4月）			
学 年	男 子	女 子	合 計
1年生	81名	23名	104名
2年生	75名	19名	94名
3年生	75名	21名	96名
4年生	59名	14名	73名
5年生	45名	19名	64名
合 計	335名	96名	431名

2. 令和6年度の現状報告

(1) 門限の一部変更

寮生からの要望より、保護者のみなさまのご同意のもと、令和6年度後期より門限を一部変更致しました。これまでは、平日・休日に関わらず門限を20時にしておりましたが、土・日・祝日のみ門限を21時30分に変更致しました。それに伴い、女子寮の日課も若干変更致しました。寮生の夜間の帰寮に対する安全面等の問題や、学寮規則の変更に伴う寮生の違反行為の増加等が懸念されましたが、現在のところ大きな問題は起きておりませんので、ひとまず安堵しております。

寮生および保護者のみなさまから寄せられる寮生活に関する要望につきましては、お応えできない場合もございますが、寮生の生活面や安全面など、学生寮の運営において最善な方法を模索しながら、今後とも寮生活の見直しおよび改善を検討してまいります。

(2) 寮生会活動

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、一昨年度から、寮生会の活動も徐々にコロナ禍前の活動に戻ってきています。令和6年度は、清掃活動の計画・立案や、寮生会イベント（七夕イベント・クリスマスイベント）の開催などを実施してくれました。また、寮内の生活指導も引き続き行ってきています。寮生全員が充実した学寮生活を送ることができるよう、寮生会の活動には期待しているところです。

(3) 寮での病院対応

令和6年度は、広島県内でインフルエンザ感染症が流行し、12月～1月にかけて、本校でも罹患者が発生しましたが、予防に対する学生の意識の向上および保護者のみなさまのご協力のおかげで、寮内拡大は最小限に防げたのではないかと考えております。寮内での病院対応におきまして、ご理解およびご協力いただき感謝申し上げます。

今後とも、寮内での病院対応におきましても引き続きご理解いただきますとともに、学生の体調がすぐれない場合は無理をせず、早めに寮務係へ連絡するよう促していただきま

すようお願い致します。

3. 令和7年度の方針・取組

(1) 宿直業務の外部委託

現在宿直業務に従事しているのは、全教員のうち約77%の38名であり、その年間宿直回数は男性教員18回、女性教員で16回であり、全国高専の最頻値である5~6回を大きく上回っています。急進的・抜本的な改革は難しいため、宿直業務の見直しや宿直環境の改善、外部人材のさらなる活用など、不断の取り組みを進めています。教職員の負担軽減のためには、将来的に全開寮期間を教員1名と外部委託2名の3名体制とすることが望ましいと考えております。この実現に向けて、直接被雇用者の手配、寮生への通知と自治意識の涵養など様々な課題解決に努めてまいります。

なお、全面的に外部委託することは高専における学寮の性格上適当ではないと考えています。

(2) 入学定員増に対する再入寮

学科改組による定員増による寮生の収容可能人数が不足する可能性が懸念されています。令和8年度の新入寮生の受け入れ体制を整えるために、今年度中に1棟1階の居室を2人部屋体制に整えて、寮生の収容可能人数を増やすことを考えています。この場合、寮の収容可能人数は470名程度となります。現在の寮生人数は表1のとおりです。また、来年度予想される寮生人数は、新入寮生が120名、全員が退寮しないと仮定した場合は、表2のとおりとなっております。寮生の収容可能人数を増やした場合でも、30名程度が定員超過となることを見込まれており、再入寮の許可に影響があります。

表1

表2

寮生数(令和7年4月)				寮生数(令和8年4月)			
学年	男子	女子	合計	学年	男子	女子	合計
1年生	80名	20名	100名	1年生	86名	24名	110名
2年生	81名	22名	103名	2年生	80名	20名	100名
3年生	71名	18名	89名	3年生	82名	22名	104名
4年生	66名	17名	83名	4年生	73名	18名	91名
5年生	34名	12名	46名	5年生	66名	17名	83名
合計	332名	89名	421名	合計	387名	101名	488名

(3) 若潮寮の設備面及び衛生面の改善

若潮寮は、建物を含め、さまざまな設備が老朽化してきております。それに伴い、設備面や衛生面などにおいて、寮生はさまざまな不便や不満を抱えていることと思われまます。現在も、寮生たちの不満や要望に対して少しでも応えようと、学生寮の設備面および衛生面の改善を行っているところです。しかしながら、運営費の削減や原材料費の高騰などもあり、なかなか改善が進んでいないのが現状です。限られた予算の中ではありますが、若潮寮をより長く良い状態を維持するために、加えて寮生がより良い環境の中で寮生活を過ごしてもらうためにも、これからも設備面および衛生面の改善に努めてまいります。

今後、学生が学校生活や部活動に生き活きと励みながら、寮の集団生活の中で様々な成長してもらえるように寮務主事室全員で見守り、後押ししていく所存です。引き続き保護者の方にご協力を頂くことばかりですが、どうぞよろしくお願い致します。

広報活動

広報主事 おおぬま 大沼 みお

1. 令和6年度の主な取組

昨年度に実施した広報活動は以下のとおりです。今年度から新設された総合科学科を広く知ってもらうため、広告やSNSなどに力を入れた活動を行いました。

〈イベントなど〉

- ・ 4月 大崎上島中学校郊外研修受け入れ
- ・ 6月 学校主催進学説明会（広島市・東広島市・福山市）を実施
商船学科公開講座～あつまれ船長・機関長!～を実施
国公立高専合同説明会 KOSEN FES（東京都）参加
- ・ 7月 商船系高専5校合同進学ガイダンス（神戸市）参加
国公立高専合同説明会 KOSEN FES（大阪府）参加
ぴょん太杯参加・宣伝（広島市）
- ・ 8月 商船系高専5校合同進学ガイダンス（横浜市）参加
公開講座実施
オープンスクール（第1回）を2日間実施
- ・ 9月 高専合同オンライン説明会 KOSEN FAIR 参加
ノーベル学習館進学説明会参加
- ・ 10月 オープンスクール（第2回）を実施
- ・ その他 県内中学校からの要望による出前授業、進路説明会、個別相談等
 - ・ 中学校または塾主催の進路説明会参加 25回
 - ・ 校長、特命教授による広島県教育長との面談（5月）
 - ・ 特命教授による廿日市市・大竹市中学校校長研修会での宣伝（8月）
 - ・ 受験期の進路相談訪問・電話対応
 - ・ 夏季オープンスクール来訪者の在籍中学校を訪問（広報主事・広報主事補）
 - ・ 広島・岡山・近畿地区の中学、校塾、教育委員会訪問（特命教授）

〈広告・SNSなど〉

- ・ 学科改組に合わせた学校案内と学校ホームページの大幅改訂
- ・ 学校公式インスタグラム（公開期間：令和6年9月～令和7年3月、リール動画35本、フィード投稿4回）
- ・ 秋季オープンスクールの広告（9月29日、中国新聞広告）
- ・ 秋季オープンスクールの広告（9月18日～10月17日、街頭大型ビジョン）
- ・ 東広島タウン誌 the ウィークリープレスネット関連
 - 取材・記事型広告掲載（10月10日）
 - 秋季オープンスクールの広告（10月17日）
 - イベント紹介欄街ネタメッセージャーへの掲載（10月24日）
 - 東広島デジタル掲載（web版記事型広告）（10月8日から1年間）
 - ラジオFM東広島出演（10月9日、14日）
- ・ 新学科開設の駅ポスター広告（横川駅、西条駅、呉駅、広駅、福山駅、三原駅、尾道駅、広島駅は11月4日から6週間、海田市駅は11月4日から3週間および12月2日から1週間）
- ・ 新学科開設の広告（11月19日～12月18日、街頭大型ビジョン）

2. 入学生の状況、情報の共有

今年の本校を第一希望もしくは専願した受験者数は 172 名で、前年度に比べ 23 名程減少しました。これは昨年度に志願者が増加した反動で志願者が減少したことに加え、本校の新学科新設の広報が 8 月からの解禁であったため、広報が早期から十分にできなかったことが大きいと考えます。学科の名前が総合科学科となったため、電子系など勉強したい分野がはっきりしている学生が、出願を躊躇した例もあるようでした。また、昨年度は広島県の入試制度変更により、本校含めた国立私立校へ受験生が流れましたが、今年度はその対策ができ、自己表現カードの作成・提出が廃止されたため、県立高校を目指す学生が増えたと考えられます。

また、少子化が進んでいるところでの、私立高校の授業料実質無償化と突出した宣伝力は、本校だけでなく国公立高校には大変厳しい状況です。広島県だけでなく全国でも同様の傾向が見られます。

3. 令和 7 年度の方針・取組

- (1) 中学校（中学校教諭）との連携強化
- (2) 特任教員の配置強化（県内 2 名、近畿 1 名、関東 1 名へ）
- (3) 本校主催の進学ガイダンスを東広島市・広島市・福山市で開催予定（6 月）
- (4) 本校でのオープンスクール（8 月と 10 月に開催）
- (5) DX 人材養成に伴う学科改組の周知広報活動

今年度は県外の中学生に、今まで以上に本校を受験してもらうため、関東地方に特命教員を新たに配置しました。県内では、昨年度、特命教授だけで訪問していた中学校に本校教員も同伴で訪問し、中学校との連携強化を図っております。

中学校主催の進路説明会に、現時点で 12 の中学校から参加依頼をいただき、学校説明をしております。本校主催の進学説明会は、昨年度同様、東広島市（6 月 7 日）、広島市（6 月 21 日）と福山市（6 月 28 日）で行う予定です。

オープンスクールは 8 月 2 日、3 日と、商船祭と同時開催の 10 月 26 日に開催予定です。国公立高専合同説明会 KOSEN FES が東京（6 月 15 日）と大阪（7 月 13 日）で、商船系高専 5 校合同進学ガイダンスが横浜（8 月）と神戸（7 月）で開催され、参加を予定しております。

本校は、家族や知り合いからの口コミで志望していただいていることが多いので、リニューアルした学校ホームページなどを通じて、普段の学校生活や、部活動やコンクールなどの学生の活躍を発信していきたいと考えております。幸い、本校の広報活動に学生がとても協力的で、学校ホームページ制作にモデルとして参加してくれたり、イベントのサポート学生として学校生活や学科について発表したり、中学生の個別相談にのってくれており、大変ありがたく思っております。

進路指導 ー商船学科ー

商船学科 就職担当 むらおか 村岡 ひでかず 秀和 ちゃえん 茶園 としふみ 敏文

1. 進路概要

図1に商船学科の過去5年間卒業生(令和2年度～令和6年度)の進路状況を示します。全体の傾向として、航海コース・機関コースともに平均すると約77%が海上職、約11%が陸上職、残り約12%が進学といった状況です。

令和7年9月卒業予定学生(令和6年度5年生)の進路状況(内定状況)を表1に示します。令和6年度5年生は、約82.5%の学生が船員としての海上就職予定となりました。そのうち、外航船員として内定が14名、内航船員として内定が19名(合計33名内定)となっています。

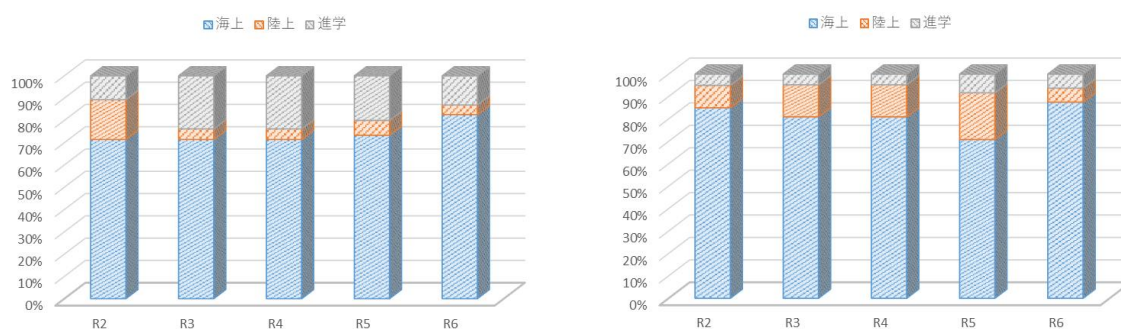


図1 過去5年間の進路状況(左:航海コース、右:機関コース)

表1 令和7年9月卒業予定学生の進路状況

航海コース(20名)	海上:16名	陸上:1名	進学:3名
機関コース(20名)	海上:17名	陸上:1名	進学:2名
商船学科(40名)	海上:82.5%	陸上:5%	進学:12.5%

2. 求人・求職の傾向

近年の求人は、外航船社ではもちろんですが内航船社においても2級海技士の筆記試験合格を入社条件としている会社も多いため、よりレベルの高い資質が求められています。

海上職・陸上職ともに、就職に際しては基礎基本の知識を有していることは当然のことながら、社会人としての責任感・協調性・社会性などのコミュニケーション能力が強く求められる傾向にあります。

海上職を目指す学生の場合、外航を志望する学生は毎年一定数いますが、数ヶ月から数週間の短期航海の内航船員を希望する学生もいます。

3. 進路指導

(1) 低学年に対して:学科長や就職担当者がホームルームの時間を利用して、就職や進学を含めた進路についての指導を行っています。不定期ではありますが、造船所見学や本校練習船の寄港地での港湾施設見学等も取り組んでいます。卒業生の講演等の機会を設定して海事関連の仕事に対する理解を深める取り組みも行っています。

(2) 高学年に対して:商船学科では担任と就職担当を中心に、本人の希望・適性・成績等を踏まえ、希望調査・個人面談等を行いながら進路を決定しています。また、4年生では夏季を中心にインターンシップを推進して、年が明けて航海実習下船後すぐに始まる就職試験に備えるようにしています。年々早まっていく就職活動に戸惑わないような心構えと準備が大切になってきています。

進路指導 ー電子制御工学科ー

電子制御工学科 就職担当 おおわだ ひろし 大和田 寛

1. 進路の概況

令和6年度の求人状況は、800社を超える企業から求人が寄せられ、例年通り非常に恵まれた環境となりました。卒業生39名のうち、5名が進学、34名が就職しており、高い進路決定率を維持しています。就職者の多くはエンジニア職に就き、これまで学んできた機械、電気、情報、制御などの専門知識を活かして活躍する見込みです。また、本校に訪問した企業の求人担当者も130社を超えており、企業側の採用意欲の高さがうかがえます。

2. 進路状況

(1) 就職

就職先の業種は、製造業が約5割を占め、次いで電気・ガス・水道・エネルギーといったインフラ関連業種、サービス業、建設業の順となっています。また、全体の約2割の学生が県内および中四国地域の企業に就職していますが、例年に比べて地元志向の傾向はやや弱まっています。

(2) 進学

進学の割合は約13%で例年とほぼ変わらない割合となりました。大学への進学者は3名、本校専攻科への進学者は2名です。

令和6年度卒業生の進路先（電子制御工学科）（R7.3.31現在）

進路先	人数	進路先	人数
JFEスチール	1	岩谷瓦斯	1
アズビル	1	三菱電機	1
オーチス	3	三菱電機プラントエンジニアリング	3
関西電力	2	中国電力ネットワーク	3
セイコーエプソン	1	東芝ITサービス	1
ダイキンエアテクノ	1	日鋼設計	1
ディーピーティー	1	日立パワーソリューションズ	1
帝国電機	1	富士電機	1
ディスコ	1	富士フィルムメディカル	1
トーテックアメニティ	2		
広島高速交通	1		
マクシスエンジニアリング	1	熊本大学	1
メタウォーター	3	豊橋技科大	1
ヤンマー	1	奈良教育大学	1
ヤンマーエネルギー	1	本校専攻科	2

進路指導 一流通情報工学科

流通情報工学科 進路指導担当 かねこ はるお 金子 春生

1. 進路指導（学科の取り組み）

5年学級担任が進路指導を担当し、学科全体で連携を取りながら指導にあたっています。就業意識を高める試みとして、①低学年時からの就職講義の導入、②4年生全員のインターンシップ参加、③OB・OGによる講演会、④職業適性試験・基礎能力試験の実施などの多岐に渡る就職支援プログラムを実施しています。また、公務員志望者の学生を応援し受験を突破する実をつけるため、公務員講座を開催しています。近年はオンラインでの業界研究セミナーなども積極的に実施しています。

2. 進路の概況

令和6年度の卒業生は38名（男子16名、女子22名）です。このうち、就職希望者は33名、進学希望者は5名となっています。就職先企業の業種の内訳については、情報通信業が28%、物流業が21%、製造業が24%、その他 サービス業などが続きます（図1）。今年度は、関東地方が55%、関西地方が21%、そして、21%の卒業生が広島県を含む中国地方の企業に就職しています（図2）。関東地方に行く卒業生は情報通信業が多い傾向にはありますが、最初の数年の研修後には広島を中心として中国地方に配属されるケースも多いようです。表1に卒業生の進路一覧を示しています。

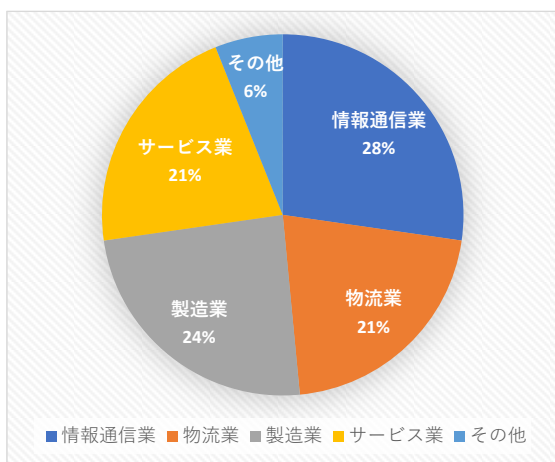


図1 業種別就職先

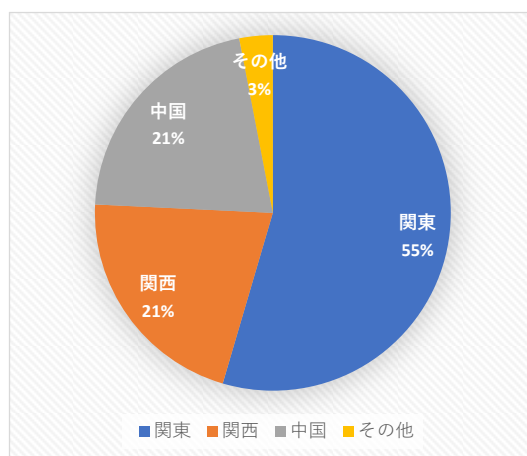


図2 地域別就職先

表1 進路一覧（順不同）

就職	情報	NEC フィールドディング(株)、CTC システムマネジメント(株)、CTC テクノロジー、西日本電信電話(株)、(株)ISAP、(株)インフォコム西日本、(株)システムタイズ、ロジスティードソリューションズ(株)、(株)U-NEXT HOLDINGS、FIXER(株)
	物流	NRS(株)、川崎陸送(株)、山九(株)、東海海運(株)、広島高速交通(株)、ロジスティード西日本(株)
	その他	光洋機械産業(株)、(株)日立ハイテクフィールドディング、(株)日本クライメイトシステムズ、(株)古川製作所、太陽工業(株)、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)、ダイキン MR エンジニアリング(株)、パナソニックコネクタ(株)、(株)キャステム、(株)TBS アクト、西日本高速道路ファシリティーズ(株)、パナソニックオペレーションズ(株)、横河ソリューションサービス(株)、(株)スタッフサービス
進学	東京海洋大学 海洋工学部、信州大学 経法学部、修道大学 法学部、倉敷中央看護専門学校	